Portreport
指物師の横顔

株式会社門間箪笥店（仙台箪笥伝承館）
指物師 齋藤 直樹 *Naoki Saito*

仙台箪笥（たんす）の本体製作を担う「腕のいい」指物師の情熱

手先の器用だった少年は物心がついた頃からものづくりにのめり込んでいた。それは48歳となった今も変わらない。「天然の木材に触れていたいんです。触っているだけでうれしい」と話すその顔に、笑みがはじける。

高校を卒業して二十数年、陸上自衛隊仙台駐屯地で木工作業を担当してきた。仙台箪笥を手掛けてみたいという思いが募り、3年前、門間箪笥店へ入社した。本体の製作を担う指物師となり、天職だと思った。今思い描く夢は、一棹の仙台箪笥を、注文を受けて一から組み上げること。

「街に立っているビルを見ていてもインスピレーションを受けます。どんなものもヒントになる。作り方や、デザインのアイデアは無限にあるわけですから」と、造形の世界の魅力を語る齋藤さん。

木と向き合ったとき、集中力が一気に高まる。腕に走る血管が膨らむ。いかにも頼もしさを増したその腕は丁寧に、繊細に、それでいて迷いなく木を扱っていく。優れた技術者のことを人は「腕のいい」と表現する。まさに、その体現者がここにいる。

OGALE! OGALE!

＼フレーフレー！高校生！／

MESSAGE TIMES

がんばろう！ものづくりの力を応援します！

オガーレ！応援隊／富田博秋さん（東北大学大学院教授）　八島和彦さん（ものづくり企業コーディネーター）

MESSAGE 01 環境が変われば誰だって人はストレスを感じます

新型コロナウイルスの感染拡大によって世界中が混乱に陥っています。学校は3カ月程度閉鎖され、また部活動、クラブ活動にも制限がかかり、軒並み大会は中止に追い込まれました。状況にいら立ち、そんな自分を未熟だなどと考え、落ち込んでいる方もいるでしょう。

しかし、外的要因で環境が変われば誰だって人はストレスを感じるものです。どうか、自身がそうした状態になるのは自然なことだと知ってください。そして、心配事に関わる情報に触れ過ぎず、適切に、正確な情報と触れるようにしよう、と意識してください。

不安やいら立ち、悩みとの具体的な向き合い方の一つに、「それらについて考える時間を決め、書き出す」という方法があります。ポイントは、10分考えたら終わり、というふうに時間を決め、ダラダラ続けないことです。書き出すことで思考が整理でき、精神状態も安定します。それから、家族だったり、先生だったり、悩みを相談し共有できる、身近な人を見つけておくことも大事です。

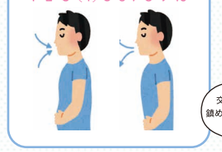
そして、自分に合ったリラックス法を持つことをお勧めします。次の絵で示した腹式呼吸は取り組みやすいリラクセーション法の一つです。

富田博秋さん
東北大学大学院医学系研究科精神神経学分野教授
東北大学病院精神科科長

腹式呼吸　不安・緊張・イライラ・不眠などに効果

3秒吸って、1秒止める、6秒吐く。

1・2・3（4）5・6・7・8・9・10



それでも、初めから効果が得られるわけではありません。一日に数回でいいので練習してみてください。だんだんこつがつかめてくるはずです。そうすると自分の心を自分自身で落ち着かせられる、という自信が付きます。質の高い睡眠、食事をはじめとした規則正しい生活、適度な運動は心の健康づくりに欠かせませんが、これまで述べたことは、そうしたポジティブな生活のリズムをつくるのに役立ちます。意識し、工夫していれば必ず、悩みやストレスと上手に付き合えるようになっていきます。

MESSAGE 02 「人生万事塞翁（さいおう）が馬」人生とはそういうものです

顧みれば私は、大学に入学したのも現役生より3年遅く、大学卒業後4年近い浪人生活があり、一般的な方たちと比べ7年以上社会人としてのスタートが遅れていました。東北金属工業株式会社（現株式会社トーキン）に入社したのは詳しく検討した結果ではなく、会社が法学部出身者を募集していたことがきっかけです。形式上は中途採用ですが、社会人としての経験はゼロのため「遅れてきた新卒」でした。

トーキンでは多様な仕事を経験させていただきました。そしてある時、総務部時代に設立に関与したみやぎ工業会への出向を命ぜられ、事務局長に就任。同社定年後は専務理事として5年、その後1年間参与を務めたのですが、その時に県産業人材対策課から県の補助事業「ものづくり企業コーディネーター設置事業」の立ち上げを打診され、携わり、翌年からスタート、現在へと至っています。

県内中小企業の採用活動をバックアップし、高い技術力や世界シェアを持っている素晴らしい企業がたくさんあることを県内の学校や学生、保護者の方に知ってもらうことを第一に考えて業務を行っています。そして、就職を考えている高校生の皆さんは、ぜひ、各企業の内容をきちんと研究、理解し、その中で自分に合うと思われる仕事、興味があり、やりたいと思う仕事を見つけてほしいと願います。

今年は新型コロナウイルスの流行により、大きな混乱が生じています。高校3年生は特に不安な毎日だと心配しております。しかし、人類の歴史はウイルスとの戦いだったともいえるのです。こうした事態に遭遇してしまい、昨年までとは異なる環境の中で生活せざるを得ないわけですが、新たな環境を恐れず、かつ自身の夢を諦めることなく、受験や就職に果敢に挑戦していってください。人生万事塞翁が馬――なのです。

八島和彦さん
ものづくり企業コーディネーター
（統括コーディネーター）

「人生万事塞翁が馬」
「人間万事塞翁が馬」とも。人生にはさまざまな出来事が起こるが、一喜一憂せず、受け入れようという趣意の、中国の故事。

宮城新卒者等人材確保推進本部からのメッセージ

新型コロナウイルスの影響による企業の事業活動縮小が懸念される中、新規学校卒業者等の皆さまが安定した就職先を確保し、充実した職業生活を送ることができるよう、企業との懸け橋となる各種就職支援および職場定着支援を「就職・採用応援プラン」により推進します。

詳しくは、宮城労働局ホームページをご覧ください